ボーイズリーグ

BOYS LEAGUE
日本少年野球連盟

笑顔MVP!
大久保 竣太
宮城仙南ボーイズ

「笑顔MVP」は選手がグラウンドで見せた最高の表情を紹介しています。次回はキミかも?

相模原代表切符M1

▶▶ 2回1死二、三塁、相模原・中嶋がスクイズに成功

厚木大会
神奈川県支部
（17日、綾瀬スポーツ公園ほか）

▽2回戦
綾瀬ボーイズ　010 000 0　1
相模原ボーイズ　032 000 ×　5
【綾】杉原、今藤―田高
【相】小松、八代―佐藤
三佐藤（相）今藤（綾）二八代（相）

中嶋逆転スクイズ

29チームで4つの出場枠を争う神奈川では2回戦5試合が行われ、創部36年目の相模原が綾瀬に快勝。東日本選抜大会出場まであと1勝と迫った。

スタメン起用の準レギュラーがチャンスをものにした。0―1で迎えた2回1死二、三塁。身長160㌢の8番・中嶋が高めの球に飛びつきスクイズ成功。小松に続いて二塁走者・松本もホームを陥れ、一気に逆転した。さらに好機をつくって暴投で3点目。中嶋は「サインは予想していました。バントは練習からしっかりやっていたので、その成果」と満足そうだった。

3回は4番・佐藤の適時三塁打と小松のスクイズで2点追加。先発左腕・小松がスリークオーターから繰り出す伸びのある直球を武器に6回途中まで1失点と力投し、最後は八代が締めた。

「夏はスランプに陥った」という小松は「走者を出した時の制球が課題でした。肘の高さや投げ方を何度も確認し、やっと調子が戻った」とホッとした様子だ。次は23日に強豪・湘南と代表決定戦。そこでも力を出し切り、古豪復活を印象づける。

相模原

選手名	学年
太斗	❷
哉生	①
佑葵	②
空樹	①
太楓	②
斗流	②
生人	②
葵郎	②
樹月	①
楓斗	②
流貴	②
人和	②
郎久	①
月稀	②
斗樹	②
貴彦	①
和遼	①
久輝	②
稀大	
代	
八國	
佐三	
中小	
飯石	
山山	
岸高	
中後	
清辻	
遠小	
大松	
景秋	
廣	

角田商事杯
東北支部
（18日、山形・高畠町野球場）

▽決勝
盛岡ボーイズ（岩手）　010 000 0　1
宮城仙南ボーイズ（宮城）　402 2× 8

6番・黒沼が左前に運んで2者をかえすと、続く蛇走も「前で捉えることを意識した」と中前に同点打。失策も絡んで黒沼も一気に生還すると、櫻井が左越え三塁打で続く

▽準決勝
白河ボーイズ（福島）　300 030 0　6
宮城仙南ボーイズ　530 201 ×　11
【白】石澤、八代、青山―八代、石澤
【宮】櫻井、武者、今野―佐藤

初準V

盛岡

選手名	学年

▽同
横浜青葉ボーイズ　000 001 5
麻生ボーイズ　000 300 0　3　6
【青】土井、古川大、寺尾―相川
【麻】糸藤、川崎、近藤―佐々木
二相川、佐野、白井、林（以上青）
糸藤（麻）

7回1死三塁、横浜青葉・白井は左中間へ適時二塁打

終盤地力発揮

横浜青葉　支部交流の長野大会を制した地力を終盤に発揮。2点を追う7回、長谷川、三ツ本の連打で無死一、三塁として「緊張したけどベンチの声で力が抜けた」という佐野が左越えに同点二塁打。さらに白井が「持っている力をすべて出す」と左中間を破る適時二塁打を放った。なおも二、三塁として5番・林がダメ押しの2点二塁打。その裏を3番手・寺尾が3人で締めた。梶原政与監督は「点が取れなかったので終盤はエンドランを多用した」と胸をなで下ろしていた。

▽同
横浜都筑ボーイズ　101 100 2　5
神奈川大和ボーイズ　301 121 0　8
【神】児玉、荻窪、根本、奥田、根本―木倉
【都】兼市、平林―稲木、小林泰
本奥田（都）三田代（神）小沼（都）
二木倉（神）小關（都）

1回、二塁から生還した神奈川大和・根本

リベンジ成功

神奈川大和　横浜都筑の好投手・兼市の立ち上がりをたたき、初回1死三塁から田代が中前に先制打。さらに根本が中前打で続いた2死二、三塁から前原が中前に落として2者をかえした。3回以降も小刻みに加点し、継投で反撃をかわした。主将の根本は2年生大会で負手でリベンジし我慢強く戦えたと胸を張った。

小關打撃

横浜都筑　敗戦　番・小關（おぜき）3回2死二塁から打を放ち、5回から中前打。5回は小沼の三塁返し、なお2死中間への適時二ない姿勢を示し「打席では遠くへとを考えている」で打てたけど負い」と表情を曇ら

◆茨城県支部（19
ムスタジアム土浦）
▽A組代表決定戦
波崎　1―0
※波崎が東日本選抜

▽同
平塚　9―0
座間　7―5